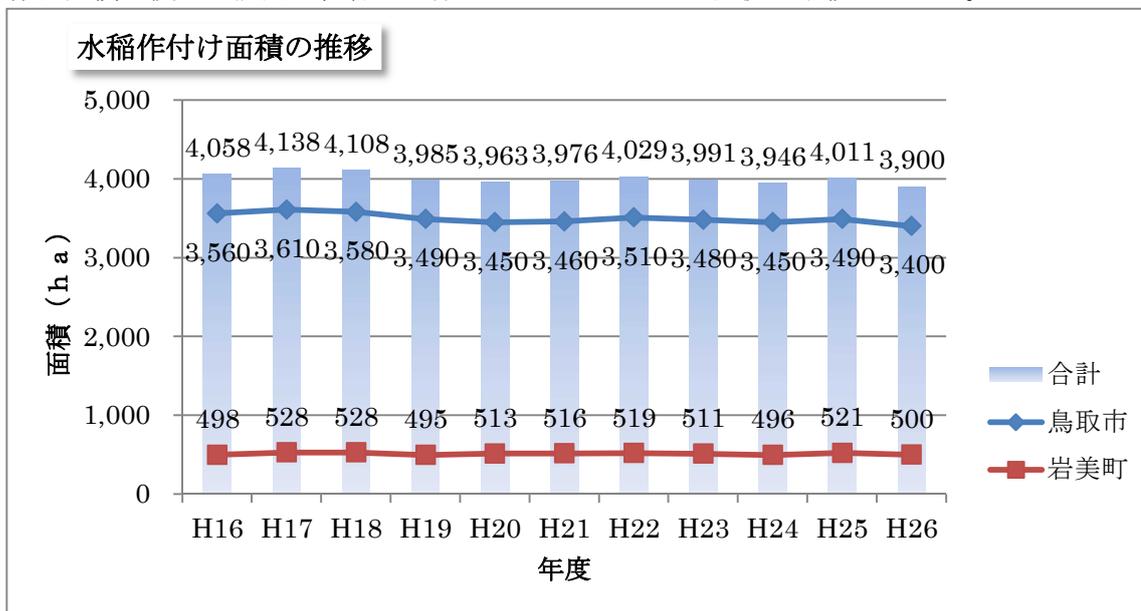


### Ⅲ 主な農畜産物の生産、販売状況（※数字は特段の記載が無い場合は JA 鳥取いなば調べ）

#### 1 水稻

##### (1) 作付面積

作付面積は横ばい傾向で、管内全体では4千ヘクタール前後で推移している。

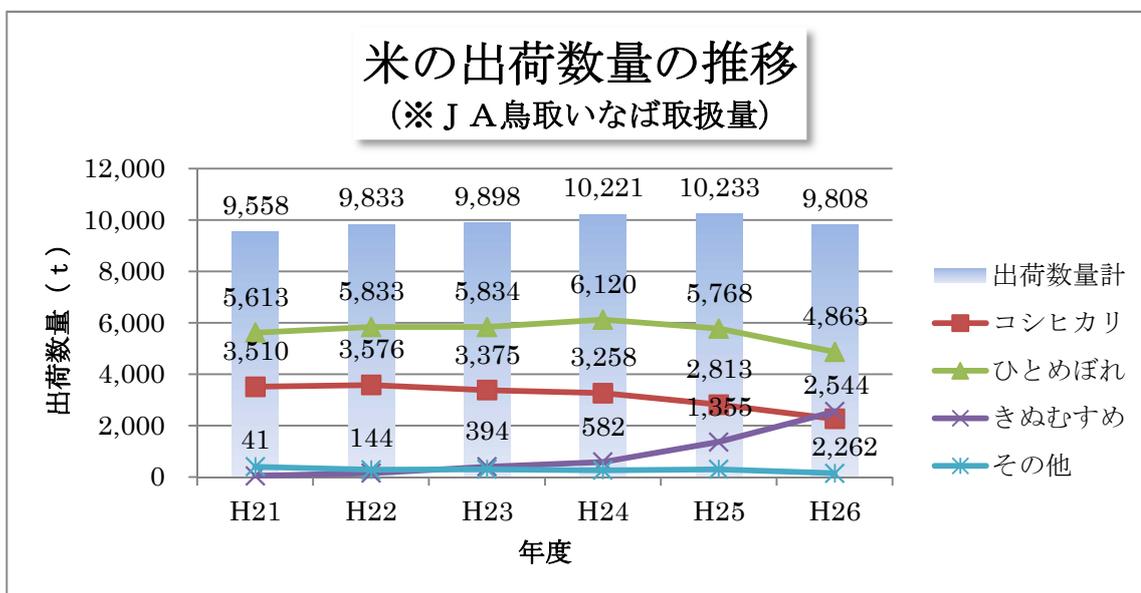


(鳥取農林水産統計年報調べ)

##### (2) 出荷数量

①平成 26 年度の出荷量は 9,808 トンと前年対比で約 4 パーセント減少した。

②近年、夏季の高温等の影響で 1 等米比率が低迷しているコシヒカリから品質、収量が安定しているきぬむすめへの品種転換が進んでいる。



##### (3) トピックス

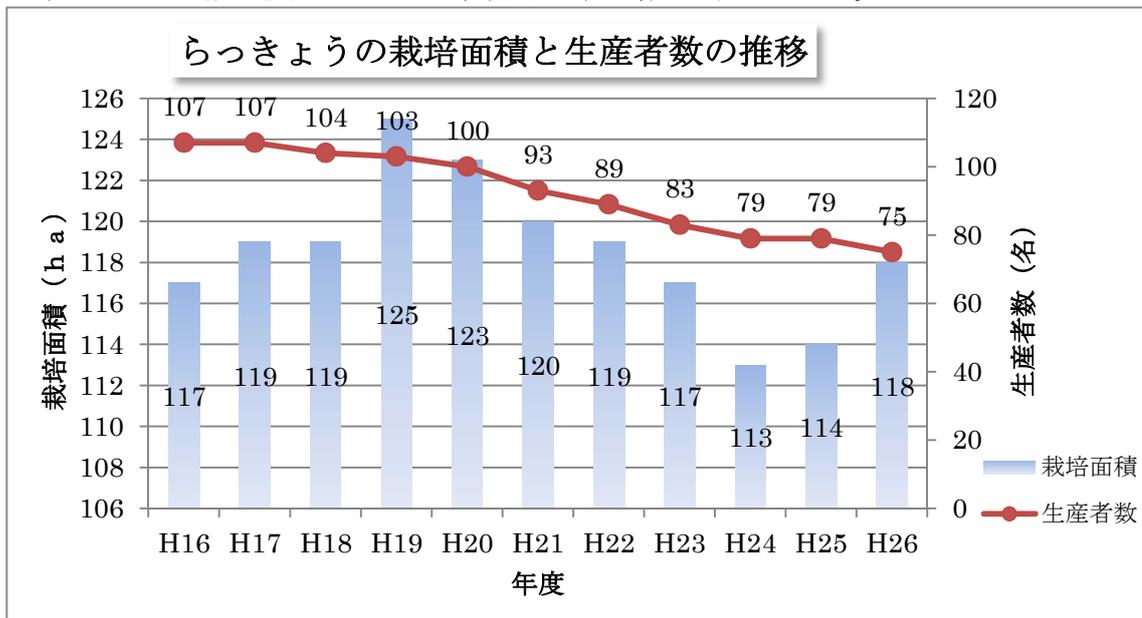
①全国的に米価が大きく下落した。県東部産米も全国的な動きと同様に農協への概算金単価は前年対比で 2 割程度低下した。

②平成 26 年県産きぬむすめは平成 25 年産に引き続き、日本穀物検定協会の食味ランキングで最高ランクの特 A を取得した。

## 2 らっきょう

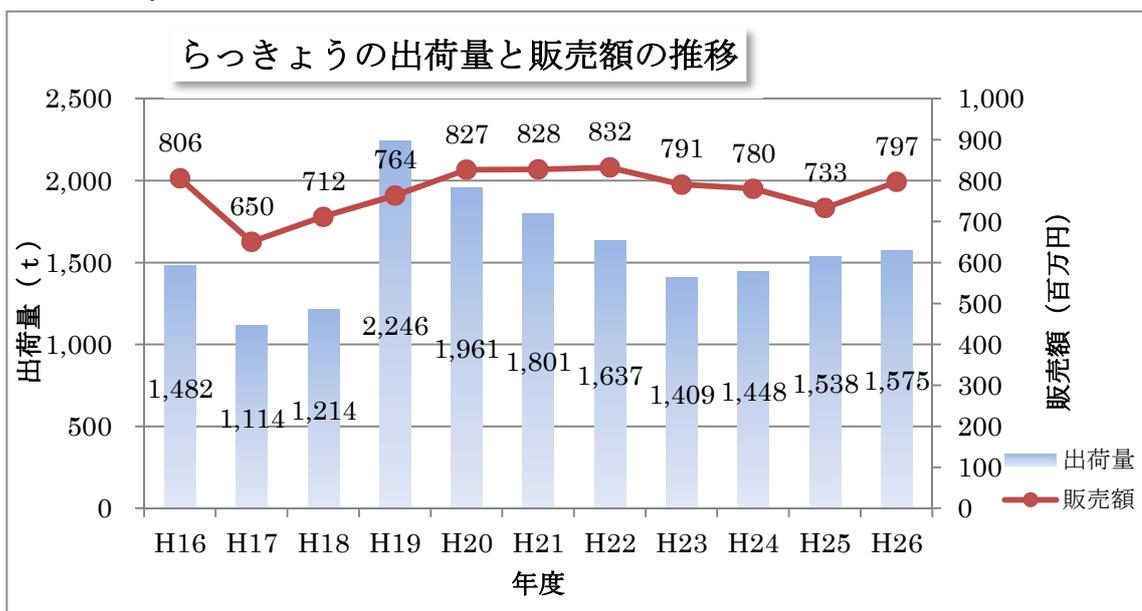
### (1) 栽培面積・生産者数

- ①鳥取市福部町で栽培されている「砂丘らっきょう」は、鳥取県内の栽培面積の約6割を占めている。
- ②生産者数は10年前と比較し平成26年は30パーセント減少している。栽培面積は平成19年をピークに減少傾向にあったが、直近2年は増加に転じている。



### (2) 出荷量・販売金額

- ①出荷量は平成19年度の大豊作をピークにその後4年間は減少傾向にあったが、直近3年間は増加傾向にある。平成26年産の販売額は単価の上昇により前年に比べ約8パーセント高くなった。



### (3) トピックス

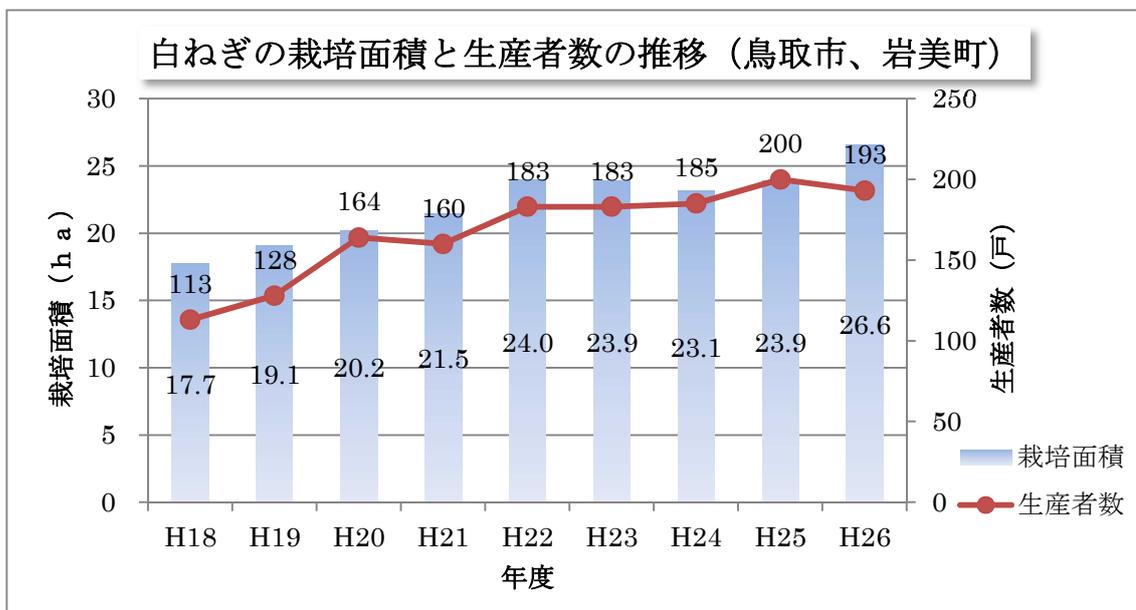
- ①平成26年度は本格的な栽培開始から100周年を迎え、新商品開発、記念誌の発行等100周年を記念した取組を実施した。
- ②県産らっきょうは生食用の出荷量が全国1位、総出荷量は鹿児島県に次ぐ全国2位を誇る。(農林水産省、平成24年地域特産野菜生産状況調査)

### 3 白ねぎ

#### (1) 栽培面積・生産者数

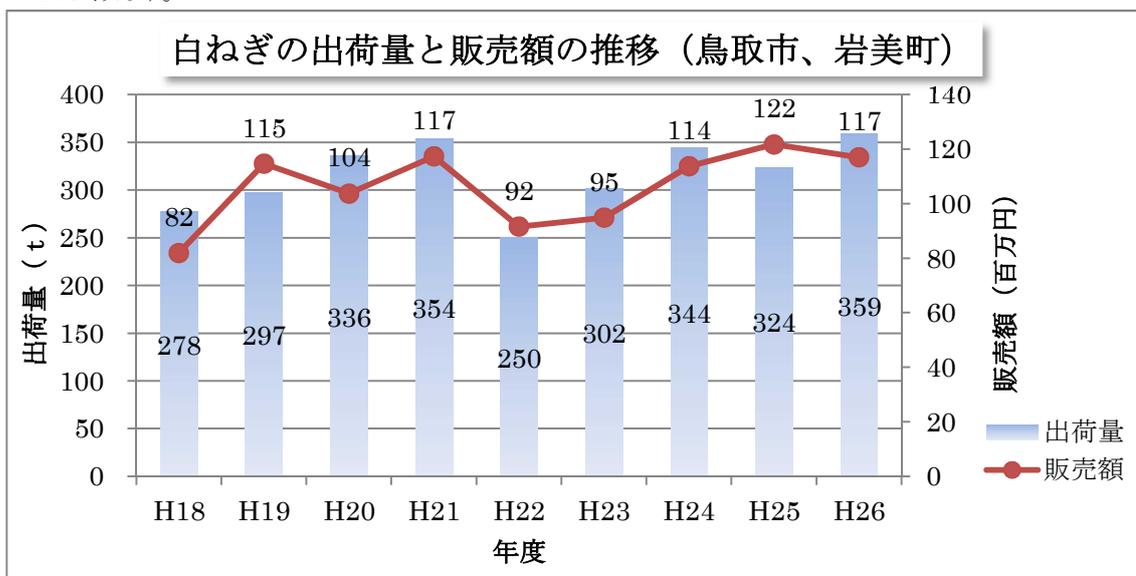
①平成26年度生産者数は前年対比で4パーセント減少した一方で、栽培面積は11パーセント増加した。

※平成21～25年度、JA鳥取いなばの主体でチャレンジプラン支援事業を活用し管理機、皮剥機等機械のリースを実施した。平成26年度からはJA鳥取いなばの主体で地域プラン事業に取り組み、育苗ハウスの増棟や移植機等の機械リースを実施中である。



#### (2) 出荷量・販売金額

①平成26年度の出荷量は平成18年度以降では最高値を示した。販売額は昨年度比で4パーセント低下したが、平成18年度以降では2番目に高い水準にある（平成22年度は雪害により減収）。



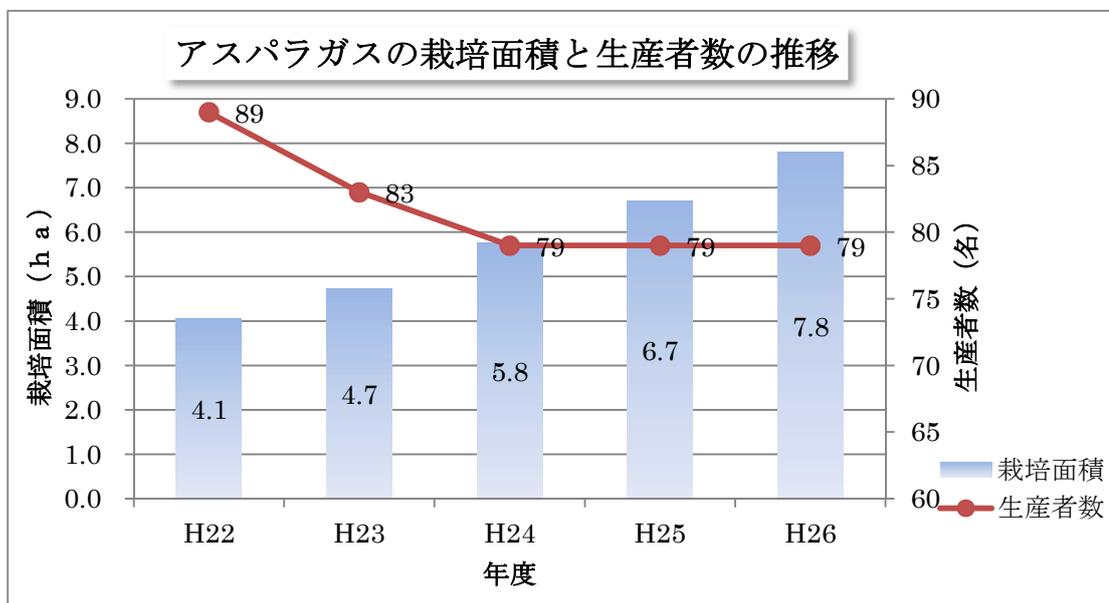
### 3) トピックス

①JA鳥取いなばが関係機関と協力し「白ねぎ倍増プラン」を平成25年度に策定した。栽培面積をH25実績の42ヘクタール（八頭管内含む）からH30には80ヘクタールへ倍増する計画としている。

#### 4 アスパラガス

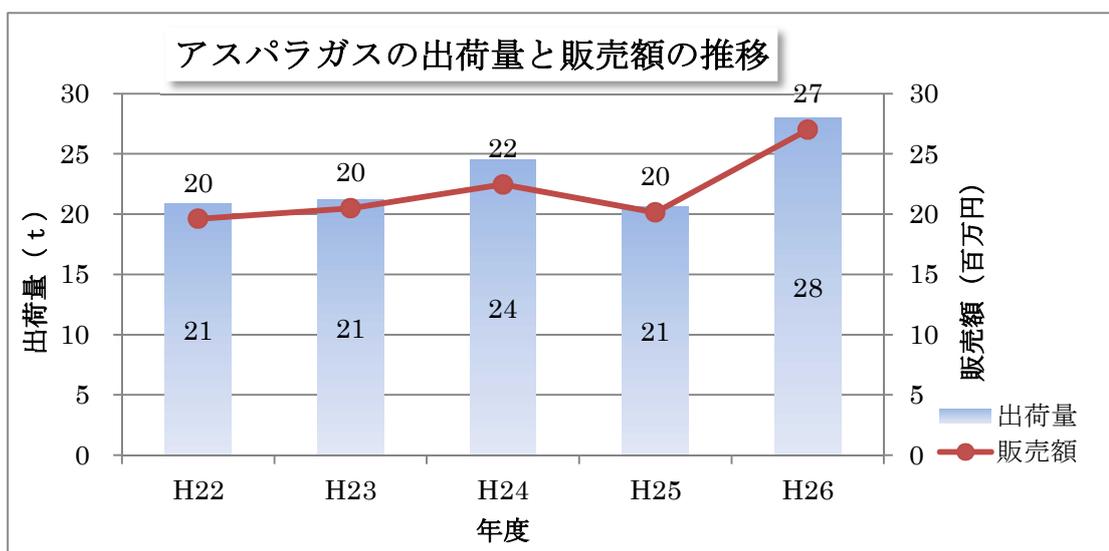
##### (1) 栽培面積・生産者数（八頭管内含む）

①栽培面積は平成 26 年度で 7.8 ヘクタールと平成 23 年度以降、毎年約 1 ヘクタールずつ増加している。平成 24 年度まで減少傾向にあった生産者数はその後、横ばいである。



##### (2) 出荷量・販売金額（八頭管内含む）

①平成 26 年度出荷量は前年対比で 33 パーセント、販売額は 35 パーセントの増加を示し、平成 22 年度以降ではともに最高値を記録した。



##### (3) トピックス

①らっきょう、白ねぎに次ぐ特産品としてアスパラガスを育成するため、平成 26 年度より関係機関でプロジェクトチームを設置し、一丸となって栽培の推進を行っている。

## 5 梨

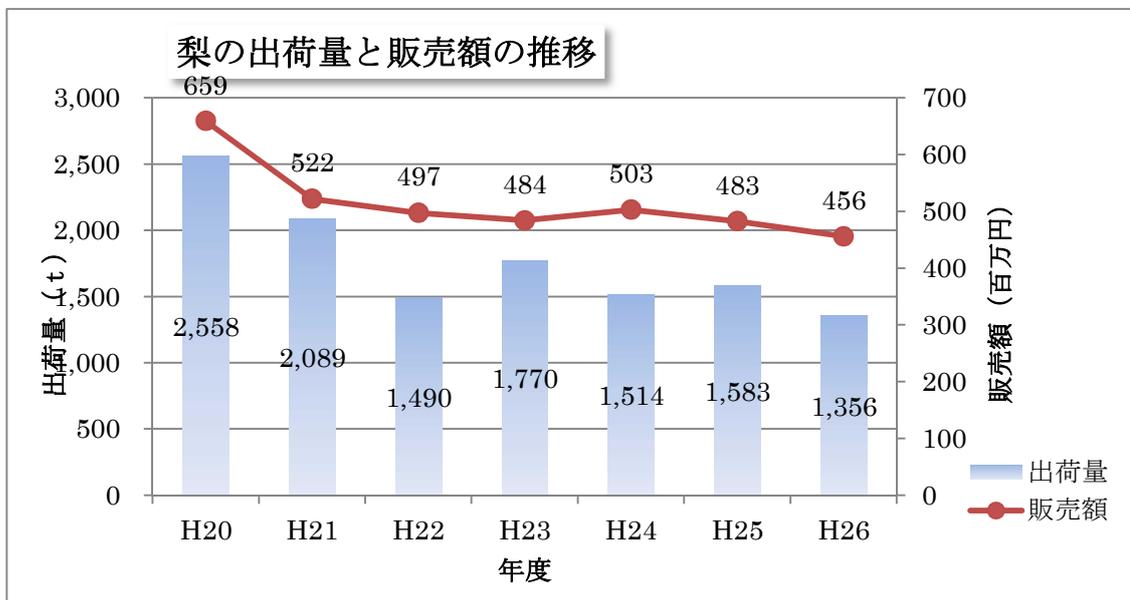
### (1) 栽培面積・生産者数

①栽培面積、生産者数とも毎年、前年対比で平均 6 パーセントずつ減少する傾向が続いている。平成 26 年度の栽培面積、生産者数とも過去最低を記録した。



### (2) 出荷量・販売金額

①平成 26 年度の出荷量は前年対比 14 パーセントの減、販売額は 5 パーセントの減となった。販売額が出荷量や栽培面積の減少幅ほど大きくないのは、販売単価の高い新甘泉などの新品種への転換が進んだことが原因している。



### (3) トピックス

①現在、二十世紀梨が主流であるが、新甘泉を中心に新品種の導入が進んでいる。

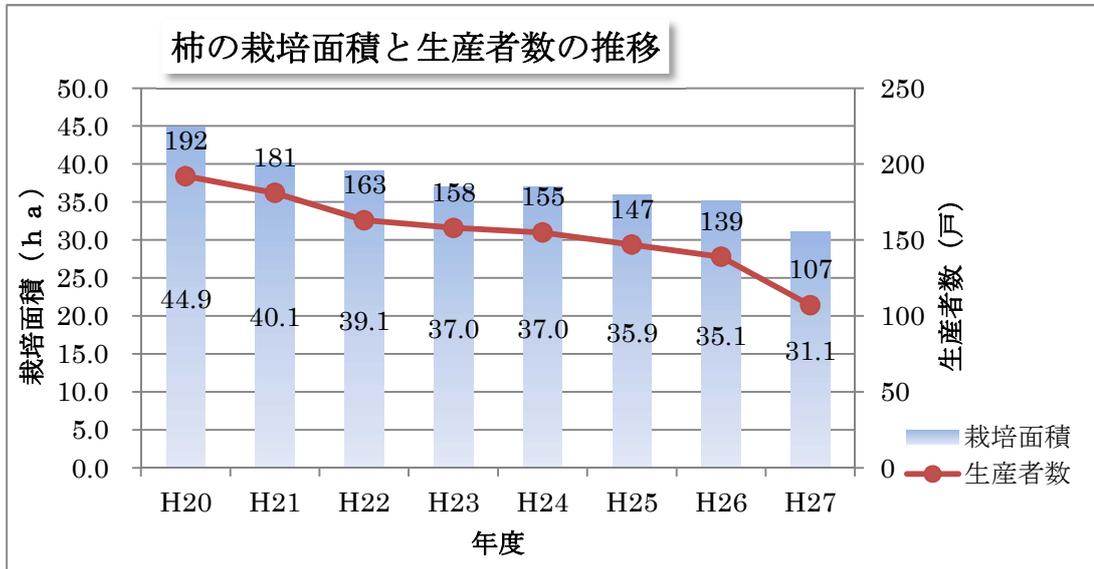
	H18~H22	H23	H24	H25	H26	合計
新品種苗木本数	536	1,002	1,041	3,862	1,589	8,030
うち新甘泉	306	645	527	2,393	947	4,818

※JA 鳥取いなばが管内農家へ配布した本数

## 6 柿

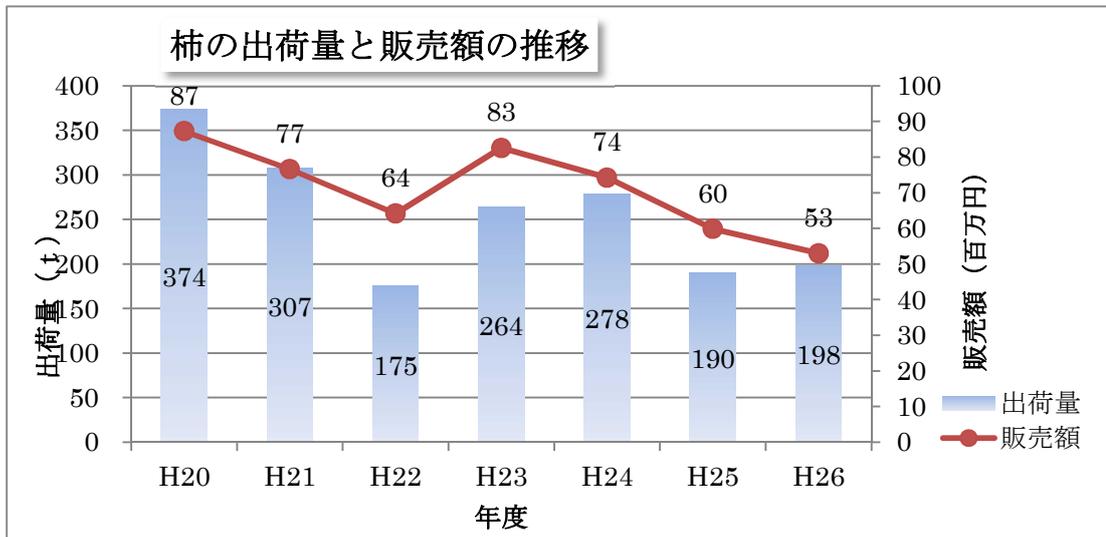
### (1) 栽培面積・生産者数

①梨同様、生産者の高齢化等により、生産者数、栽培面積ともに減少傾向にある。特に平成27年度は前年対比で栽培面積が11パーセント減、生産者数は23パーセントの減と大きく落ち込んだ。これは単価の低迷に加えH26年4月に発生した大規模な霜害など販売および生産環境の不安定さが影響していると考えられる。



### (2) 出荷量・販売金額

①平成26年度の出荷量は前年対比で4パーセント増加した一方で、販売額は11パーセント減少した。



### (3) トピックス

①霜被害の再発を防ぐため、防霜ファンや散水装置の設置などの経費の一部を補助する事業をH26度に急遽実施した。

②現在、富有、西条柿が中心であるが、収量、品質、販売単価の高い新品種「輝太郎」の植栽を進めている。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
輝太郎苗木本数 (本)	264	937	387	277	712	619	3,196

※JA 鳥取いなばが管内農家へ配布した本数

## 7 乳用牛

酪農経営においては、管内では全県の10%弱を占め、小規模農家の廃業があり、昨年から1戸減少

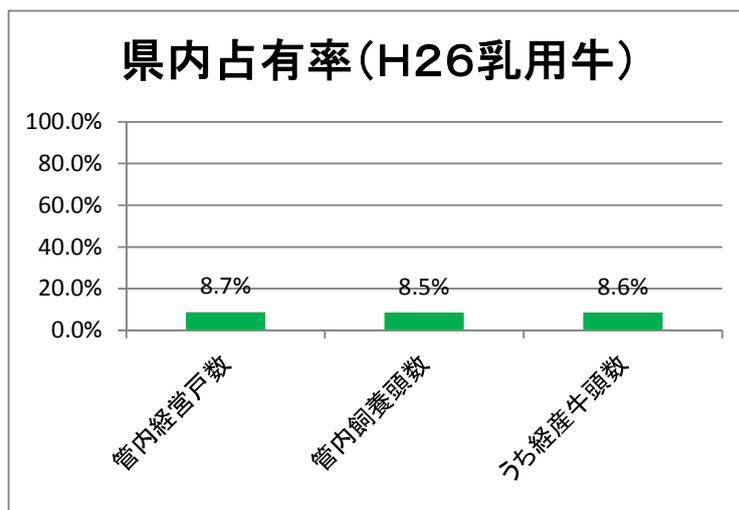
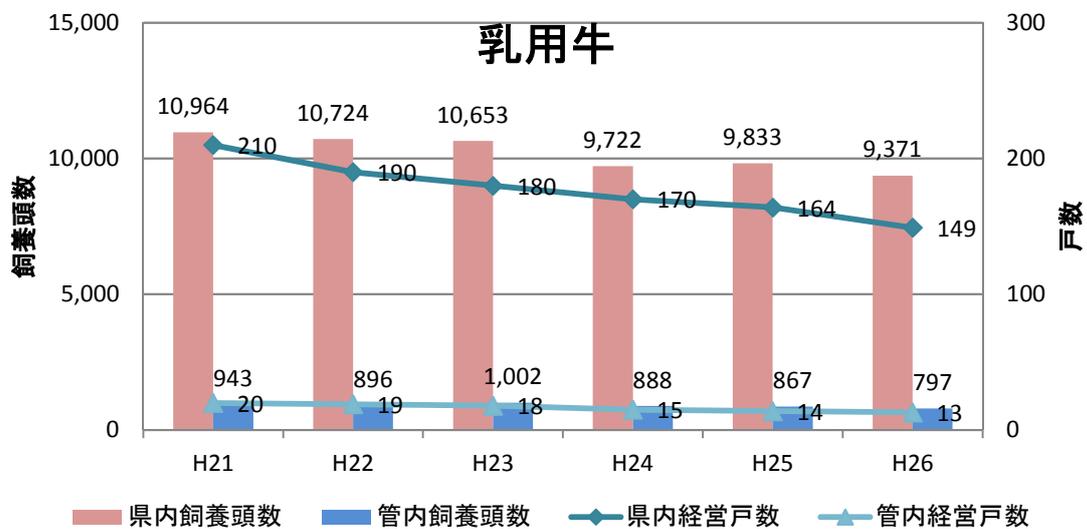
### 乳用牛

(単位:戸、頭・羽、%)

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	県内占有率
管内経営戸数	20	19	18	15	14	13	92.9%	8.7%
管内飼養頭数	943	896	1,002	888	867	797	91.9%	8.5%
うち経産牛頭数	687	693	627	610	602	541	89.9%	8.6%
県内経営戸数	210	190	180	170	164	149	90.9%	
県内飼養頭数	10,964	10,724	10,653	9,722	9,833	9,371	95.3%	
うち経産牛頭数	7,139	6,911	6,658	6,679	6,623	6,298	95.1%	

資料:県畜産課調べ

※管内は鳥取市及び岩美町



## 8 肉用牛

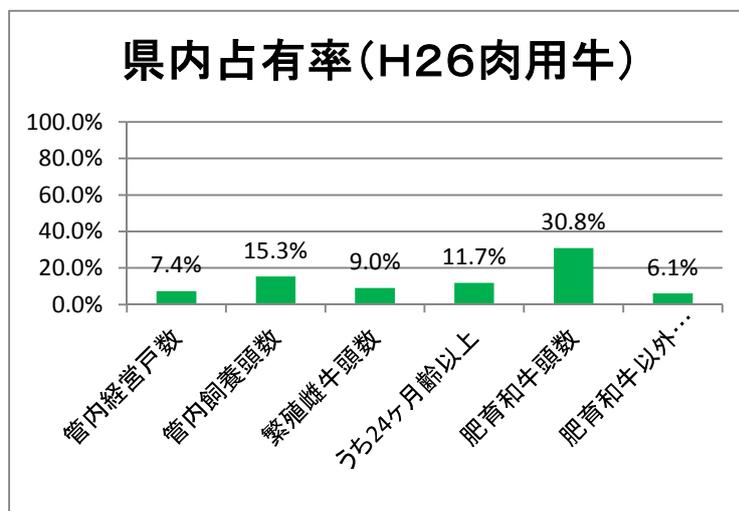
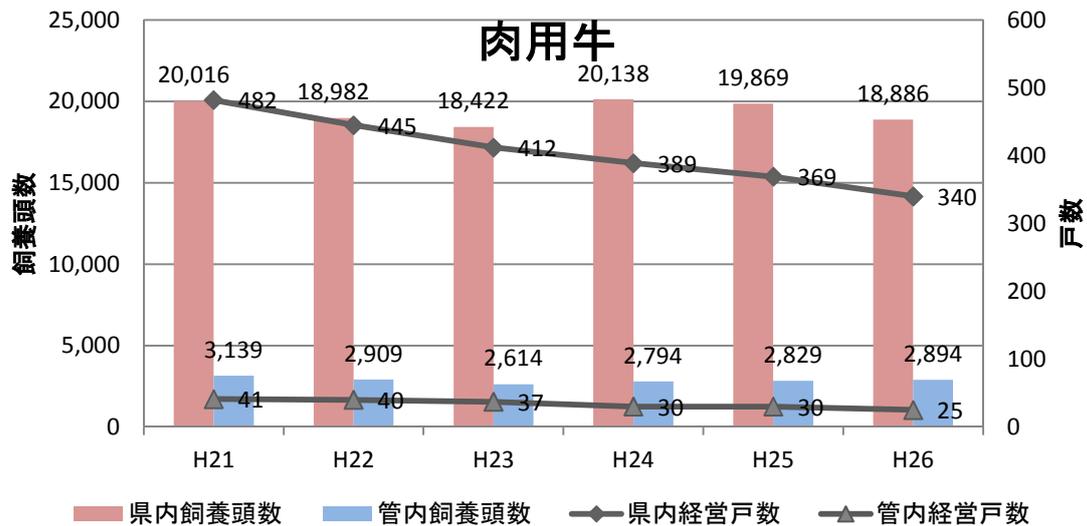
- ・繁殖経営は全県で31戸減少し243戸(274戸)、飼養頭数も減少し2,707頭(3,163頭)。管内では4戸減少し10戸(14戸)。
- ・一貫経営は全県で2戸増加し41戸(39戸)、飼養頭数はやや減少4,876頭(5,057頭)。管内は1戸増加し8戸。
- ・肥育経営は全県で変化無く54戸、飼養頭数は減少し10,643頭(11,217頭)。管内では1戸減少し8戸。

### 肉用牛

(単位:戸・頭・羽、%)

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	県内占有率
管内経営戸数	41	40	37	30	30	25	83.3%	7.4%
管内飼養頭数	3,139	2,909	2,614	2,794	2,829	2,894	102.3%	15.3%
繁殖雌牛頭数	393	365	373	344	353	359	101.7%	9.0%
うち24ヶ月齢以上	358	323	314	241	250	288	115.2%	11.7%
肥育和牛頭数	1,881	1,697	1,694	1,781	1,854	2,024	109.2%	30.8%
肥育和牛以外頭数	861	737	550	669	622	511	82.2%	6.1%
県内経営戸数	482	445	412	389	369	340	92.1%	
県内飼養頭数	20,016	18,982	18,422	20,138	19,869	18,886	95.1%	
繁殖雌牛頭数	3,265	3,160	3,141	4,156	4,246	3,981	93.8%	
うち24ヶ月齢以上	2,904	2,728	2,827	2,585	2,559	2,452	95.8%	
肥育和牛頭数	7,727	6,969	7,295	6,639	6,626	6,570	99.2%	
肥育和牛以外頭数	9,024	8,743	7,986	9,343	8,997	8,335	92.6%	

資料:県畜産課調べ  
※管内は鳥取市及び岩美町



## 9 豚

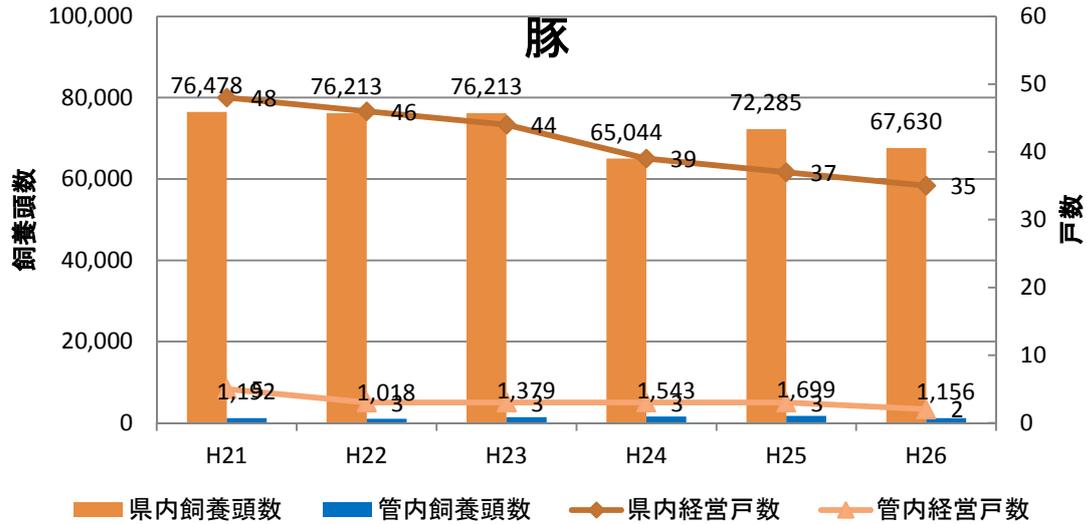
経営戸数は全県で2戸減少し、飼養頭数も減少。管内は戸数も一貫経営1戸が減少し、飼育頭数も減少。

(単位:戸、頭・羽、%)

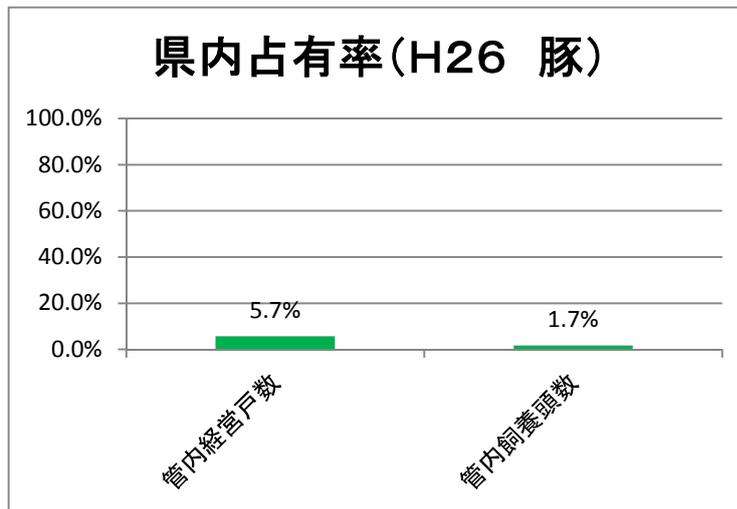
区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	県内占有率
管内経営戸数	5	3	3	3	3	2	66.7%	5.7%
管内飼養頭数	1,192	1,018	1,379	1,543	1,699	1,156	68.0%	1.7%
県内経営戸数	48	46	44	39	37	35	94.6%	
県内飼養頭数	76,478	76,213	76,213	65,044	72,285	67,630	93.6%	

資料: 県畜産課調べ

※管内は鳥取市及び岩美町



### 県内占有率(H26 豚)



## 10 鶏

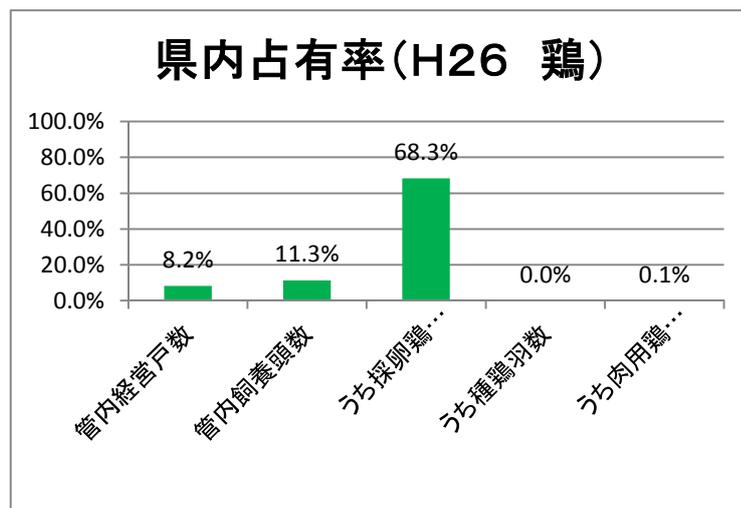
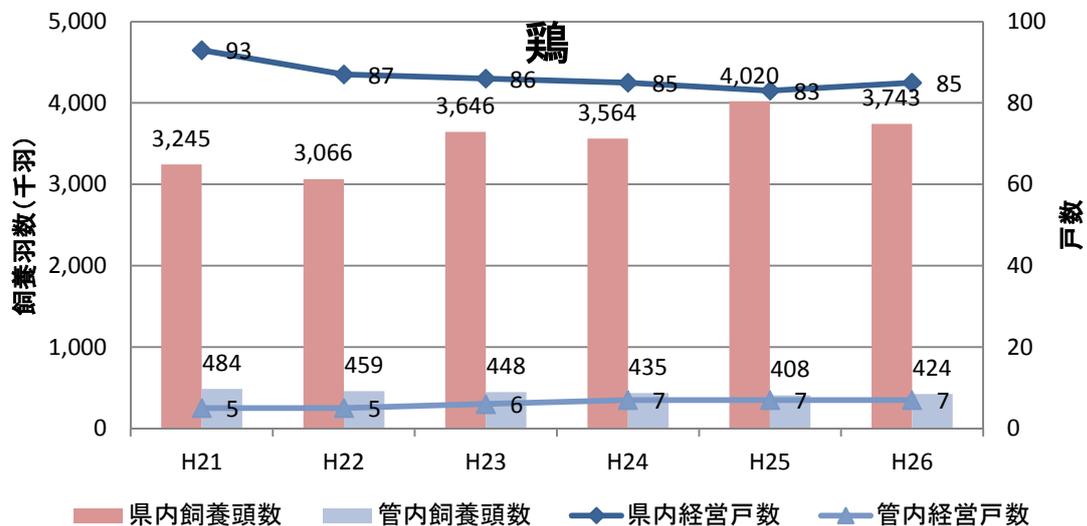
採卵経営においては、全県で戸数は変化無かったが、飼養羽数は増加。管内では県内飼養採卵鶏の70%弱を占め、大規模経営体が目立つ。戸数は横ばいの5戸で飼養羽数は増加。肉用鶏については、全県で2戸増加したが、飼養羽数は減少。管内飼育戸数は横ばいの地どり農家2戸、飼養羽数は大幅増加。今後も地どりは増羽傾向。

(単位:戸、頭・羽、%)

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	県内占有率
管内経営戸数	5	5	6	7	7	7	100.0%	8.2%
管内飼養頭数	484,171	459,291	447,882	435,253	407,811	423,740	103.9%	11.3%
うち採卵鶏羽数	484,051	458,503	446,303	434,291	406,013	420,780	103.6%	68.3%
うち種鶏羽数	0	0	0	0	0	0	-	0.0%
うち肉用鶏羽数	872	788	1,579	962	1,798	2,960	164.6%	0.1%
県内経営戸数	93	87	86	85	83	85	102.4%	
県内飼養頭数	3,245,149	3,065,730	3,645,761	3,563,744	4,020,286	3,743,239	93.1%	
うち採卵鶏羽数	723,632	686,322	667,162	648,059	599,084	615,799	102.8%	
うち種鶏羽数	130,500	119,500	144,900	150,220	145,597	143,866	98.8%	
うち肉用鶏羽数	2,375,772	2,259,908	2,833,699	2,765,465	3,275,605	2,983,574	91.1%	

資料:県畜産課調べ

※管内は鳥取市及び岩美町



## V 鳥獣害の状況

農作物の被害金額は年によって変動があるが、捕獲頭数では主な有害鳥獣であるイノシシ、シカにおいて増加している。

### 1 農作物被害金額と主な内訳

(単位:千円)

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
被害額	39,034	41,067	46,976	37,798	14,769	9,497	18,782	16,908	30,753	18,647	13,006	18,663	31,476
主な鳥獣種	イノシシ (68%)	26,598 (58%)	29,565 (63%)	21,837 (58%)	6,572 (44%)	6,587 (69%)	14,915 (79%)	13,730 (81%)	16,696 (54%)	14,073 (75%)	10,601 (82%)	15,984 (86%)	11,011 (35%)
	ヌートリア	0	13	228	13	60	76	576	898	76	24	0	55
	クマ	781	0	673	0	3,441	877	1,273	58	3,978	326	1,392	0
	シカ	0	142	0	0	0	137	186	351	17	88	6	139
	カラス	7,450	15,466	14,409	15,948	4,696	1,503	1,714	1,269	1,406	3,190	360	1,821

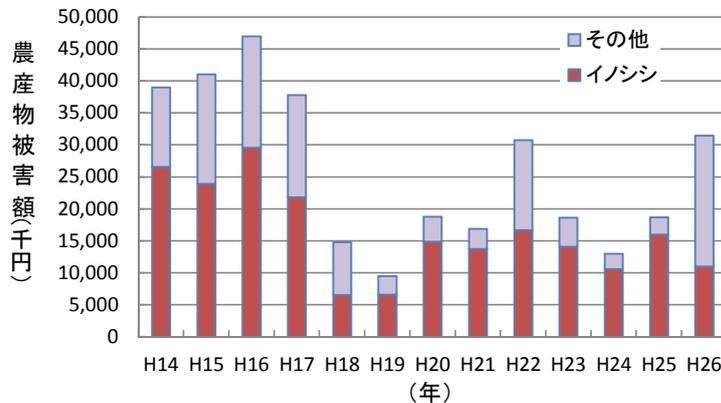


図 東部管内(鳥取市、岩美町)における野生鳥獣による農作物被害額の推移

### 2 主な鳥獣の捕獲実績(有害捕獲許可による捕獲頭数)

(単位:頭、羽)

鳥獣種	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	備考
イノシシ	1,002	719	961	1,254	1,381	1,448	2,092	1,530	1,692	2,080	2,411	
ヌートリア	0	0	0	192	552	1,637	1,126	957	641	698	551	防除計画での捕獲含む
シカ	0	4	6	26	73	278	481	587	632	800	867	猟期含む
タヌキ	0	0	0	3	5	6	5	0	0	0	0	
アライグマ	0	0	2	12	14	25	27	20	16	30	43	防除計画での捕獲含む
カラス	840	479	633	876	758	352	639	239	410	355	554	

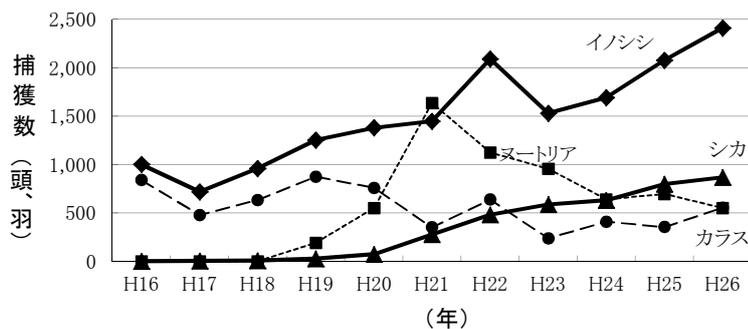


図 東部管内(鳥取市、岩美町)における主な鳥獣の捕獲実績の推移